

令和6年度第2回国立市保健センター運営審議会 記録（要約）

日 時	令和6年12月17日（火） 午後1時15分から午後1時45分まで
場 所	国立市保健センター 3階 会議室
出席委員	8名 行定委員、佐藤委員、下平委員、高柳委員、辛島委員、 小鷹委員、安江委員、関田委員
欠席委員	1名 土方委員
傍 聴	0名
事 務 局	11名 葛原部長、松葉部長、橋本室長、加藤課長、前田課長、 齋藤室長補佐、村井係長、矢吹主査、浪越主査、 藤原係長、川島主査
議 題	(1) 令和5年度保健センター事業決算について (2) 令和5年度子育て支援課事業決算について (3) その他

令和6年度 第2回国立市保健センター運営審議会

【行定会長】

定刻になりました。本日は、年末のお忙しい中、ご出席いただきまして、ありがとうございます。

出席委員が過半数に達していますので、令和6年度第2回国立市保健センター運営審議会を開催します。

土方委員から欠席の連絡と、辛島委員から15分程度遅れるとの連絡をいただいています。

また、年末のお忙しい時期ですので、本日は1時間程度を目安に進めていきたいと思えます。

委員の皆様におかれましては、議事の円滑な運営にご協力いただきますようお願いいたします。

はじめに、事務局より資料の確認をお願いします。

【浪越主査】

配布資料の確認を行った。

【行定会長】 それでは議事を進めてまいります。

(1) 令和5年度保健センター事業決算について

事務局より説明願います。

【齋藤室長補佐】

資料に基づき説明を行った。

【行定会長】 説明が終わりました。質問等ありましたら、お願いします。

では、私の方からよろしいでしょうか。

今回は予防費の決算額が前年より4億2千万ほど減っていて、大半は新型コロナウイルス感染症の関係費が減ったということですが、その他に健康相談事業、成人健診関連経費や高齢者予防接種関連経費などの決算額が減っているのは何か理由があるのでしょうか。

【齋藤室長補佐】 高齢者予防接種関連経費につきましては、まず、令和5年度の増の要因として带状疱疹予防接種の事業を始めたことが挙げられます。

減の要因として考えられるのは、高齢者インフルエンザの定期予防接種ですが、令和4年度は東京都から市に市民の自己負担が無料になるように補助金が交付されておりました。

本来2,500円いただいていた自己負担額を、令和4年度につきましては、まず市が負担をして、その後、東京都から市に補助金として交付されることとなりますので、1人2,500円分の歳出が増になっておりました。

一方で、東京都から交付される補助金でその分の歳入が増となっております。

令和5年度はその都補助がなくなり、自己負担が2,500円になりましたので、令和4年度と比較して自己負担額2,500円分の歳出が減になったということになります。

健康相談事業費の減につきましては、健康栄養相談という事業名で栄養士や保健師が健康にご不安のある方の相談にのらせていただく事業で、その事業の日だけスポット的に栄養士さんや保健師さんに来ていただき、その分の謝礼をお支払いしております。

令和5年度の5月に会計年度任用職員として栄養士を新たに任用しましたので、謝礼をお支払いする栄養士さんのシフトをその分減らしたということがございます。

成人健診関連経費につきましては、社保の付加健診ですとか成人歯科検診などがこちらに入ってくるのですが、令和4年度に比べると受診者が微減ではありますが減っているということで、その分の減と考えております。

【行定会長】同じく資料裏面の特定健康診査等費についても270万円ほど減っていますが、理由があるのでしょうか。

【齋藤室長補佐】こちら令和4年度から5年度にかけて特定健診の単価は、診療報酬改定の影響を受けておらず、大きく変えておりませんので、受診者数の変化によるものと考えております。

ちなみに令和4年度の受診者数は4,955人、令和5年度の受診者数は4,754人ということで201人の減ということになってございます。

受診者によって受ける検査項目が違うので、単純な比較はできませんが、この影響は間違いないかと思えます。

【加藤課長】補足ですが、特定健診の受診者数は減っているのですが、受診率は落ちておりませんので、2025年度が後期高齢者が一気に増える年と言われておりますが、おそらく国民健康保険加入者が後期高齢者医療の方に移られて、対象者そのものが減ったのではないかと考えられます。

【行定会長】了解しました。他にいかがでしょうか。

得のないようでしたら、後で質問いただいて構いませんので、次の議題をお願いします。

(2) 令和5年度子育て支援課事業決算について

【藤原係長】

□ 資料に基づき説明を行った。

【行定会長】質問等ありましたら、お願いします。

よろしいでしょうか。それでは、最後の議題その他で事務局より案件がありましたら説明をお願いします。

【加藤課長】

運営審議会の今後の日程についてご説明いたします。

今回は令和7年度の予算についてご報告することとなりますので、2月以降となる見込みです。日程につきましてはあらためて調整させていただきますので、よろしくご願ひいたします。

【行定会長】駆け足で来てしまったので、大分時間がありますが、ご質問やご意見がありましたらどうぞ。

【高柳委員】健康ポイントの話が出ていたと思いますが、年代としてはどのくらいの方が対象なのでしょう。

【村井係長】現在1,046名に登録いただいているのですが、一番多い年代は50代から60代です。

30代から40代の方にも大変多く参加いただいております。今回は先着順という応募の受け方をしたので、スピード感のある若い世代から早めに応募いただきました。

今までの健康づくり事業よりもかなり若い年代の方に参加いただいているので、かつ今まで市の事業に参加されて来なかった方々がたくさん参加してくださっているのも、とても良かったと思っておりますが、来年度もし事業を実施することになった場合は、高齢の方でも参加しやすい仕組み作りも考えていければと思っております。

申し込みの仕方ですとか、アプリが使用できない方のために、歩数計のよう

な活動量計というものも併用しているのですが、こちらも枠も多く設けて、たくさんの方に参加いただきたいと思っております。

ポイント変換の仕組みとしては、くにペイという国立市でのみ流通している国立市のデジタル地域通貨に変換できまして、ペイペイ等と同様にアプリやカードを市内の150ほどある参加店舗に提示いただくと利用できます。

健康ポイント貯め方といたしましては3つございまして、まず、1つめが毎日歩いていただいたその歩数がカウントされてポイントになります。

もう1つは、市内に設けている測定場所で測定を行っていただくと50ポイントがつきまして、測定することでご自身の体の様子を確認していただくことを目的としています。

3つ目は、参加しましたポイントとしまして、色々な市のイベントに参加していただくとポイントがつくような仕組みにしておりまして、これで市内の今まで行ったことがない場所に行ってみるきっかけづくりとして進めております。

【行定会長】

アプリというどうしても若い人の独壇場となってしまいますが、高齢の方にも配慮いただいているということですね。

他にはご質問等ございませんか。

ないようですので、第2回国立市保健センター運営審議会を終了いたします。

皆さまありがとうございました。